



第89号
 発行者
 公益社団法人
 京都市身体障害者団体連合会
 京都市中京区壬生坊城町19-4
 TEL. (075) 801-1900
 FAX. (075) 406-0790

令和2年度

市身連 事業報告・決算報告

標記について、書面決議にて承認されました

〈総括〉

令和2年度は、2度にわたる新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出をはじめとしたコロナ禍において、東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期され、当連合会においても各種事業等の多くが日程や内容の変更、そして中止を余儀なくされる事態となりました。当たり前の日常が失われ、社会生活における自粛が続き、未だ予断を許さない厳しい状況であるからこそ、改めて組織や事業のあり方を捉え直し、むしろ積極

果敢に改革や新たな活動に挑戦する、そういった気概を持って取り組むことが、今、求められていると考えます。

一方、京都市においては、危機的な財政状況の中、持続可能な社会を目指すSDGsが掲げる「すべての人に健康と幸福を」の目標の実現を限られた財源で進めるため、令和3年度予算について3年間の集中改革の初年度として全事務事業をゼロベースで点検・見直しを行ったところです。その結果、障害者福祉予算は、年々増加傾向にある障

害者自立支援給付費の確保を最優先し6.9%増となったものの、当連合会受託事業である「地域福祉のつどい」の予算が全額削減されました。同事業は、当連合会各障害別構成団体の協働事業及び各区身連活動の基盤とも言える事業であり、その意義を踏まえ、当連合会独自により予算を捻出することとしました。が、今後、同事業にとどまらず京都市からの受託事業等の予算がより厳しくなることは必定です。

こうした状況下においては、改めて当連合会の役割と活動の意義について不断に評価・検証を行い、新規事業を始めとしてしっかりと計画・実行していくこと、そのためには、16の構成団体の皆様と共通の理念や方向性を持ち、力を合わせて推進していくことが必要であると考えます。

当連合会は、全ての人がお互いに人格と個性を重んじ、安心して自立した生活を送ることのできる「共生社会」の実現のために、加盟団体及び会員の皆様

のご理解とご支援、ご協力をいただきながら、障害者の社会参加の推進に寄与する事業運営に取り組んで参ります。ともに頑張り、前進して参りましょう。

〈事業報告〉

一・身体障害者の更生相談並びに情報の収集及び提供に関する事業

◆結婚相談事業

◆法律相談事業

◆住環境改善相談事業

◆福祉機器及び一般相談事業

◆広報事業

二・身体障害者の文化及びスポーツ振興並びに生活環境の改善を図る事業

◆文化振興事業

○京都とっておきの芸術祭

◆スポーツ振興事業

○ふれあい卓球バレー大会

▽中止

○軽スポーツ事業

(スカイクロス、

バリアフリー探鳥会、

ふれあいウォーキング)

▽中止

○天皇盃 全国車いす駅伝競

▽中止

○天皇盃 全国車いす駅伝競

走大会↓中止

○全京都障害者スポーツ大会

↓卓球バレー大会のみ中止

○京都府民総合体育大会

(卓球バレー大会)↓中止

○政令指定都市身体障害者親

善スポーツ大会

↓令和5年度の広島市まで
休止

◆生活環境改善事業

○京都市重度障害者住宅環境

整備費助成事業

○京都市障害者就労ピアサポ
ート事業

三. 障害者問題に対する調査研
究及び普及啓発に関する事業

◆調査研究事業

○京都市障害者相談員研修会

○近畿ブロック福祉大会並び
に相談員研修会↓中止

○交通局との意見交換会

○タクシー協会との意見交換
会

○住環境改善相談員会議

(総会・講演学習会)↓中止

◆普及啓発事業

○ほほえみ交流活動支援事業

○ほほえみ広場2020

↓中止

○「障害者週間」市民啓発事
業

○日本身体障害者福祉大会

↓中止

○地域福祉のつどい

↓4区身連のみ実施

四. 関係機関、団体等との連絡
調整に関する事業

◆連絡調整事業

○近畿ブロック団体長・事務
局長会議

○政令指定都市身体障害者福
祉団体連絡協議会

○政令指定都市身体障害者福
祉団体連絡協議会団体長・
事務局長会議

○京都市障害者社会参進協
議会

五. その他この法人の目的達成
のために必要な事業

○定例理事会の開催

○指導者研修会

○部会

(総務広報、交通問題研修、
健康スポーツ)

○総会・代表者会の開催

○正副会長会の開催

○ジパング倶楽部特別会員受
付

今後の主な事業予定

〔8月〕

1日(日)

全京都障害者スポーツ大会
ボッチャ大会

15日(日)

全京都障害者スポーツ大会
水泳大会

22日(日)

京都市障害者相談員研修会
未定

第62回政令指定都市身体障害
者福祉団体連絡協議会

〔9月〕

12日(日)

全京都障害者スポーツ大会
陸上大会

19日(日)

全京都障害者スポーツ大会
アーチェリー大会

〔10月〕

10日(日)

京都市民総合体育大会
フライングディスク大会

16日(土)

ほほえみ広場2021

17日(日)

府民総体体育大会種目別交流
大会 卓球バレー

18日(月)

第3回理事会
未定
バリアフリー探鳥会

京都市交通局との意見交換会

〔11月〕
23日(火・祝)

地域福祉のつどい

未定
第41回近畿ブロック身体障害
者福祉大会並びに

第23回近畿ブロック身体障害
者相談員研修会

〔12月〕

4日(土)

「障害者週間」市民啓発
(市単独)

5日(日)

ふれあい卓球バレー大会
未定

「障害者週間」市民啓発
(府市合同)

〔1月〕

未定

第4回理事会
京都市障害者相談員研修会

〔2月〕

未定
京都府タクシー協会との意見
交換会

政令指定都市団体長・事務局
長会議

〔3月〕

13日(日)

天皇盃 全国車いす駅伝競走
大会

未定

第5回理事会・代表者会
(予算)

正味財産増減計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

<一般正味財産増減の部>		【経常外増減の部】	
【経常増減の部】		●経常外収益	0円
●経常収益		●経常外費用	0円
基本財産運用益	53,303円		
特定資産運用益	831円		
受取会費	480,000円	当期一般正味財産増減額	▲ 924,931円
事業収益	30,756,827円	一般正味財産期首残高	27,309,761円
受取補助金等	768,000円	一般正味財産期末残高	26,384,830円
受取寄付金	132,800円		
雑収益	357,869円		
経常収益計	32,549,630円		
●経常費用		<指定正味財産増減の部>	
事業費	24,768,294円	指定正味財産期首残高	30,273,421円
管理費	8,706,267円	指定正味財産期末残高	30,273,421円
経常費用計	33,477,561円	正味財産期末残高	56,658,251円
当期経常増減額	▲ 924,931円		

令和2年度「福祉のつどい」

身体障害者連合会も高齢化と共に若手会員の入会がなくなってきたことにより、事業をするにも困難を極めてきた。

今年度「福祉のつどい」は伏見区・中京区連合会が合同で開催することにした。12月の中旬に実行委員会を立ち上げ話が進んだ。今回の特徴はコロナ対策を十二分に取り入れたオンライン配信の「福祉のつどい」となった。

内容については、一部に式典、二部に講演として午前中で終了することにした。二部の講演には京都市身体障害者団体連合会会長の伊吹文明氏にお願いした。演題は「一人ひとり所属団体・地域社会・日本の一員だ」の



は公助を動かし、暮らし良い社会の構築に努めようという内容

お話をして頂いた。今後の団体活動には自分たちでできる努力(自助)、お互いが助け合いの精神を養う(共助)、それでもできないこと

で、自助・共助・公助の必要性を学んだ。

開催当日の3月21日(日)午前8時、どんよりとした曇り空から雨が降ってきた。予約していたタクシーに昨夜何度も確かめておいた荷物を積み込み車中の人となり目的地の京都テルサに向かった。朝早くから役員さんが集まってきた。皆慌ただしく動き回っていた。オンライン配信の業者の方々も会場の中で、カメラの設置やマイクの調整に余念がなかった。今回はパソコン要約をリアルタイムで入力する準備も行われていた。何もかもが初めての試みなので、当初決めていたようにはいかなかった。司会を務めていただいた方も何度も打ち合せを行ったが、当日になって追加分が出たりして、右往左往した。私が一番想いを寄せたのは、激しく降る雨の中、会場に來られる会員さんのことがかりだった。恨めしそうに雨空を眺めていると携帯が鳴った。「日野さん私、電動車いすなので、残念だけれど行けないの、ごめん、頑張つてね」だった。仕方が無いと思いつつながら切れた携帯電話をじっと見ながら「久しぶりに会えたのに・・・」私のそばを通り過ぎる会員さんが「お早うございま

す」と元氣な声を掛けてくれた。雨にもかかわらず、杖をついて合羽姿で一言「よう降るな！誰が雨男やろか」と私を横目で見ながら会場に向かって行った。会場の中では顔馴染みの会員さん同士で声を掛け合い、久しぶりに会えた喜びを分かち合っている楽しい風景がそこにあっただ。万全を期して挑んだ新企画の事業だったが、多くの人達に迷惑をかけたように思えた。しかし、令和2年度「福祉のつどい」は中京区・伏見区両団体の協力と努力が結集を結び、事故もなく盛会のうちに無事終了できたことに心より感謝します。

中京区身連 日野 勝

『令和3年度 市身連 軽スポーツ事業』を主催 『スクエアポッチャ』を開催

令和3年4月18日(日)、京都市地域リハビリテーション推進センターの体育館にて、『令和3年度 軽スポーツ事業 スクエアポッチャ』を開催しました。コロナウイルス感染症防止対策を行い、実施致しました。当日はボランティアの方の付き添いで来られた小学生を含

め、28名の方に御参加頂くことが出来ました。

スクエアポッチャは正方形のコートで、4チームが同時にプレーする事ができる競技です。まず始めに、競技説明と練習



を行い、本番の競技に入りました。赤、青、緑、黄のチーム順で目標球に向かってカラーボールを投球しました。チームで作戦を練ったり、投げ方を変えてみたりと、様々な工夫をされていました。ポーナスポイントもいくつか入り、競技は接戦でしたが、順位は1位が黄、2位が青、3位が緑、4位が赤となりました。

開催後には「楽しかった」「また参加してみたい」との感想も頂き、無事に開催することができました。開催にあたり、御協力頂きました皆様ありがとうございました。

スクエアポッチャとは？

スクエアポッチャとは、パラリンピック正式競技の「ポッチャ」を基に、より多くの人が楽しめるよう、京都市障害者ス

ポーツセンターが考案された競技です。

「ポッチャ」は1方向でプレーしますが、スクエアポッチャは正方形(9m×9m)の4チームが同時にプレーすることができます。障害や体力、年齢、人数に関係なく、誰もが楽しむ事ができます。

準備する物はジャックボール(1球)、カラーボール4色(基本は各6球)、距離計測器(メジャーなど)です。

基本のルールや得点の計算方法につきましては、京都市障害者スポーツセンター様の『スクエアポッチャガイド』を掲載させて頂きましたので、ご参考ください。

得点の計算方法

すべてのチームのカラーボールを投球し終えた時点でエンド終了とし、得点を計算します。ジャックボールに1番近いカラーボールのチームに得点が入ります。得点は、ジャックボールと2番目に近いチームのボールとの間にある1番近いチームのボールの個数が点数となります。

○得点例

○ポナスポイント
プレー中にカラーボールがジャックボールにくっついて静止した場合は、くっついたカラーボールのチームに1点加算されます。くっついていたらボールが一度はなれて、再度くっつけばもう1点加算されます。

基本ルール

- 4チーム別対でプレーする。(1チーム1-6人で構成)
- チームの投球順は、じゃんけんなどで決定する。
※最初に投球するチームがジャックボールを投球する。
- ①→②→③→④の順で1人ずつ投球する。
- 人数に要わらず各色チームの球を投げる。
※必ず全員が投球する。
- 投球エリアは、4辺あるスローイングラインのうち、各チームに割り当てられたスローイングラインの外側から投球する。その範囲内であればどこからでも投球することができる。ジャックボールラインより内側にあるジャックボールが、カラーボールに押し出されてジャックボールラインに触れた状態で静止、またラインの外に出た場合は、クロスラインの位置にジャックボールを戻す。
- カラーボールがスローイングラインに触れた状態で静止、またはラインの外に出た場合は、そのボールは無効とする。すべてのボールを投球し終えた時点で、そのエンドを終了とする。得点計算は、ポッチャと同様とする。
※ジャックボール投球から、4色のカラーボールすべて投げ終えるまで1エンドという。
- エンド終了時の得点計算とは別に、ポナスポイントとして、プレー中にカラーボールがジャックボールにピッタリくっついて静止した場合は、くっついたカラーボールのチームに1点加算する。
- 4エンド終了時の合計得点で順位が決定する。

お葬式 家族葬

公益社

北ブライツホール [堀川紫明]	山科ブライツホール [五条外環]
中央ブライツホール [五条東山]	伏見ブライツホール [丹波橋新堀川北]
南ブライツホール [油小路八条]	向島宇治ブライツホール [宇治横島]
西ブライツホール [五条西大路]	大津ブライツホール [大津駅南]

家族葬専用 別邸 向島宇治 [宇治横島]	家族葬専用 別邸 大津 [大津駅南]
-------------------------	-----------------------

☎0120-004-200

24時間365日対応、無料相談

京都 公益社 検索